ベンチャービジネス論 (Theory of Venture Business)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
機械電気	選択	5 年前	1	講義	牧野 俊昭

【授業の概要】
日本経済はバブル崩壊後の長いトンネルを抜け出し、グローバルな競争段階を迎えている。又、産業界では日本が得意な「知恵と創造性の発揮」がさらに求められており、大学・高専が有する知的財産を産業界に生かすための「大学・高専発ベンチャー」も活発に行われている。本授業では、ベンチャービジネス VB、ベンチャーマインド VM の必要性、VB と特許戦略等の内容を学ぶ。特に、ビジネスプラン BP の創出を学ぶ。

【授業の進め方】
ノート講義,HP サーベイを中心に授業を進める。授業内容の理解度を確認し、不足を補うためのレポート課題の出題、要望などを知るために、学習シートを配布する。特に、本科で学んだ創造演習Ⅰ、創造演習 II、創造製作Ⅰ、創造製作 II、自己提案型卒業研究などの基礎知識に基づき、実践的なＶＢ論を学ぶ。

【授業計画】	【授業項目】	【内　容】
1 回	ＶＢの基礎概念	オリエンテーション (講義の目的, 概要, 進め方等)
2 回	ＶＢ企業とは何か	ベンチャー企業と起業家、事例研究 (1)
3 回	ＶＢブームの歴史	研究開発型企業、ベンチャーキャピタル等を学ぶ
4 回	ＶＢ成功する起業家の特徴	成功する起業家、事例研究 (2)
5 回	ＶＢ企業の成功要因	成功の九原則について学ぶ
6 回	ＶＢ企業の成長プロセス	企業の成長、技術ベンチャーの「死の谷」対応
7 回	ビジネスプラン BP アイデア検討 (1)	開放特許をＨＰからサーベイして、まとめる (http://www.ryutu.inpit.go.jp/db/description/open)
8 回	中間試験	中間試験を実施して理解度を確認する
9 回	ビジネスプラン BP アイデア検討 (2)	BP アイデア特許を創出し、図面を作成する
10 回	ビジネスプラン BP アイデア検討 (3)	BP アイデア特許の明細書 (クレーム作り) を作成する
11 回	ビジネスプラン BP アイデア検討 (4)	BP アイデア特許の明細書、図面等をまとめる
12 回	ビジネスプラン BP アイデア発表 (1)	BP 概要のまとめ、及び発表準備 (1) をする
13 回	ビジネスプラン BP アイデア発表 (2)	BP 概要のまとめ、及び発表準備 (2) をする
14 回	ビジネスプラン BP アイデア発表 (3)	BP 概要を各グループの代表者が発表する
	期末試験	本授業で学んだ内容の理解度について確認する
15 回	答案返却など	試験の解答と解説を行う

【到達目標】	ベンチャービジネスの初歩を学び、ビジネスプランのアイデア創出と、そのアイデアを特許化 (図、請求項目など) し、それをプレゼンする能力を有する。

【徳山高専学習・教育目標】	C2	【JABEE 基準 1(1)】	d-2e

【評価法】	中間（50%）・期末（50%）の定期試験 (2 回) で評価し、６０点以上を合格とする。
【テキスト】	ベンチャー企業（日経文庫１０６９　日本経済新聞社　松田修一著） 参考図書：デイズニーランド心理学（三笠書房　山田 眞）
【関連科目】	本科：創造演習Ⅰ・II（1・3 年)、創造製作Ⅰ・II（2・4 年)、知的財産権（3 年)、自己提案型卒業研究（5 年)
【成績欄】	前期中間試験　前期末試験　前期成績　後期中間試験　後期末試験　学年末成績 【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】【　　】